

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別：障害者支援施設
 事業所名：長野県西駒郷宮田支援事業部
 まつば支援課・えこ宮田

判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点（実施している場合は■）	講評
A	1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。 ■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。 ■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。 ■ 4 生活に関わるルール等については、利用者と話し合う機会（利用者同士が話し合う機会）を設けて決定している。 ■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。 ■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>今年度は全体テーマとして、意思決定支援を位置付けて研修が始まっている。そして、日常生活や活動の中で、当たり前前に定着していくように意志決定ガイドラインの作成も予定されている。</p> <p>なお、現状の個別支援では、丁寧に話を聞き安心できる関係を築きながら自己決定を尊重した支援に取り組んでいる。</p> <p>意思決定支援のテーマは、始まったばかりの取り組みであり、施設全体に浸透しているとはいいがたいが、変則勤務の体制に合わせて職員が参加しやすい複数回の開催とするなど、共生社会の実現に向けた新たな取り組みでその効果が期待できる。</p>
		(2) 権利侵害の防止等	① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 7 権利侵害の防止等のために具体的な内容・事例を収集・提示して利用者にも周知している。 ■ 8 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。 ■ 9 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法を明確に定め、職員に徹底している。 ■ 10 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。 ■ 11 権利侵害の防止等について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。 ■ 12 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>利用者の権利侵害について、虐待防止・人権擁護委員会が中心となり組織的に取り組んでいて、今年度は身体拘束ガイドラインを改定し、個別支援計画への記載を明記している。</p> <p>また、年2回実施している虐待に関するチェックリストでは、集計結果を受けて各部署ごとに検討する機会を設け、より適したものを旨とする取り組みも始まっている。</p> <p>なお、利用者に向けた虐待防止や権利擁護の学習については、これからの課題と受け止めており、法人理念の共生社会は共通言語、共通理解が基礎と理解し始めている。</p>

利用者の尊重と権利擁護は、福祉施設・事業所の使命・役割の基本であり、虐待等の権利侵害を防止することは法令で必須とされる事項です。よって、取組の重要性に鑑み、取組が十分でない場合には、「c」評価とします。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
	2 生活 支援	(1) 支援の 基本	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 13 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。 ■ 14 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。 ■ 15 自律・自立生活のための動機づけを行っている。 ■ 16 生活の自己管理ができるように支援している。 ■ 17 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>日々の生活の支援は、一人ひとりの個別支援計画に基づいて具体的に実施しており、自由に毎日入浴ができることや、おやつや自由保管や消灯時間も決まっていない等、生活の自己管理を尊重して見守り、必要に応じた介助や支援をすることで、利用者の自律・自立した生活を目指している。</p> <p>また、施設内を自由気ままに歩き回って過ごしている利用者を職員も他の利用者も、見守り受け入れている姿に共生社会の片鱗を見ることができる。</p>
			② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 18 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。 ■ 19 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。 ■ 20 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。 ■ 21 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。 ■ 22 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>意思疎通やコミュニケーションが困難な利用者には、担当職員との信頼関係や日常的な関りを通じた個別の配慮をして意思疎通を図っている。</p> <p>また、個別支援マニュアルにおいてはコミュニケーション手段を検討し、職員間での共通の支援に努めている。</p> <p>そして、言葉で会話ができて、相互の意志や希望がうまく表現できずに伝わっていない事に注意深く対処をしたり、語尾に「ね」を付けて優しい言葉に気を付けるなど、コミュニケーションの効果を図っている。</p>
			③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 23 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。 ■ 24 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。 ■ 25 利用者の意思決定の支援を適切に行っている。 ■ 26 相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。 ■ 27 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>個別支援計画の策定時には、定期的に面接相談の機会がもたれ、ここでの相談内容がサービス管理責任者によって個別支援計画に反映されている。</p> <p>また、利用者の思いや悩みを受け止める相談は、利用者が緊張することなく相談ができるように、日常生活の何気ない機会や場面でも設けるようにもしている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
			④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 28 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動(支援・メニュー等)の多様化をはかっている。 ■ 29 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。 ■ 30 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。 ■ 31 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。 ■ 32 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。 ■ 33 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>施設内に就労継続支援の各種作業、生活介護の日中支援メニュー等が数多く用意されており、利用者がニーズや要望に応じて選択し、これらの日中活動を個別支援計画に基づき提供している。</p> <p>また、高齢化や障がいの状況等に応じて検討・見直しが行われ、就労から生活介護への移行にも取り組んでいる。</p> <p>一人ひとりの個別支援計画に基づいた日中活動に取り組むだけでなく、ダンスクラブや地域のスポーツサークル活動等への参加も広がっている。</p>
			⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 34 職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をはかっている。 ■ 35 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。 ■ 36 利用者の不適応行動などの行動障がいに個別かつ適切な対応を行っている。 ■ 37 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。 ■ 38 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>施設内研修や外部研修に参加し、職員は障がいに関する理解と支援の専門性の向上に努めている。業務支援マニュアルには利用者の状況や支援方法等が具体的に示されており、職員間で共有を図っている。</p> <p>そして、日々の個別支援記録が引き継がれ、職員間で連携のとれた支援に取り組んでいる。</p> <p>昨年からは心理士が採用され、心理分析やケア会議等におけるスーパーバイズが期待できる。</p> <p>また、支援の記録では、職員の対応や支援方法が細かく記述され、支援内容の検討や見直しに効果的となっている。</p>
	(2) 日常的な生活支援	① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 39 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。 ■ 40 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。 ■ 41 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。 ■ 42 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。 ■ 43 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>個別支援計画と共に個別支援マニュアルにおいて食事・入浴・排泄・移動、その他の日常生活支援内容が示されており、職員間で共有した支援が提供されている。食生活については、高齢化と共に嚥下に困難をきたした利用者につきざみ食の提供が行われている。</p> <p>特に、選択メニューやバイキング等は、利用者に喜ばれている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>食生活については、嗜好調査や給食委員会での検討等に積極的に取り組んだり、利用者向けのメニューをわかりやすく表示する工夫も期待したい。</p>	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
		(3) 生活環境	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 44 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。 ■ 45 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。 ■ 46 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠(休息)できるような生活環境の工夫を行っている。 ■ 47 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。 ■ 48 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>広大な敷地で移動範囲が広い中で、利用者にとって快適な生活環境となるように環境整備が進んでいる。建物は古いが冷暖房も備わり、食堂・浴室・トイレ等は掃除が行き届き、暖かい雰囲気がある。入所の利用者は個室使用で、プライバシーは守られ、安心・安全にも配慮されている。</p>
		(4) 機能訓練・生活訓練	① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 49 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。 ■ 50 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。 ■ 51 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。 ■ 52 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。 ■ 53 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>生活介護では手先の軽作業や農園作業等に、日々の生活動作の中で利用者の持てる機能等を維持する工夫も視られる。また、以前は嚙下に困難をきたした利用者に対しては、言語聴覚士の専門指導により支援が実施されていたが、現在は無い。なお、理学療法士の募集は行っているが、実現には至っていない。</p> <p>[検討課題]</p> <p>今後の高齢化による身体機能の衰え等に対処するために、日常の生活動作の中での利用者の機能や能力を維持向上させるという視点を持った更なる支援の取り組みに期待したい。</p>
		(5) 健康管理・医療的な支援	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 54 入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。 ■ 55 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。 ■ 56 利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。 ■ 57 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。 ■ 58 障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>看護師を中心に職員が連携して利用者の健康管理に努めており、歯科検診等、各種検診や健康診断が実施され、結果を早期受診に繋げている。また、緊急時の対応はマニュアルが定められ、地域の医師、医療機関と日常的な連携が取られている。そして、インフルエンザ予防のために、R-1ヨーグルトを毎日提供したことにより、昨年度は大きな流行もなく、健康の管理・維持に努めていることもわかる。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
			② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 59 医療的な支援の実施についての考え方(方針)と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。 ■ 60 服薬等の管理(内服薬・外用薬等の扱い)を適切かつ確実に行っている。 ■ 61 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。 ■ 62 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法により行っている。 ■ 63 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。 ■ 64 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>医療関係マニュアルが整備され、また、利用者の個人健康管理簿が作成され、これらに基き医療的な支援に取り組んでいる。</p> <p>さらに、精神科を受診し処方を受けている利用者も多く、服薬管理にはサブマニュアルを定めて、注意深く対応をしている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>薬の管理については、薬の名前、効能や副作用等の情報を、利用者の希望の有無にかかわらず提供していくことは必要であろう。</p>
	(6) 社会参加、学習支援	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 65 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。 ■ 66 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。 ■ 67 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。 ■ 68 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。 	<p>[取り組み状況] 利用者は外出の機会を楽しみにしており、買い物や食事のための外出は利用者の意向を尊重し、担当職員と1対1の関係を大事にした計画的な実施となっている。地域の運動施設を利用したスポーツ活動のクラブに参加する利用者や、溪流釣りの趣味のために単独外出をしたり、近隣地域を自由に散歩で楽しむ利用者もいる。</p> <p>[検討課題] 社会参加や学習のための支援については利用者のニーズを更に把握し、情報提供とともに意向をくみ取る工夫とより多様な支援に期待したい。</p>	
	(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 69 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。 ■ 70 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。 ■ 71 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。 ■ 72 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。 ■ 73 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>長期に渡って関係機関と連携を取り、多くの利用者の地域生活への移行に取り組んできた実績がある。</p> <p>地域移行に向けたすみれホーム自活訓練やホーム敷地外自活訓練等のメニューも用意されている。また、今年度は地域生活への本人・家族の意向を調査する「あなたが望む暮らし調査」に取り組むことになっている。</p> <p>移行した地域のグループホームから生活介護の利用者も多く、支援の継続性が確保されており、また、相談支援事業所も併設されているので、スムーズな連携の下で安心できる移行後の生活が繰り広げられている。</p>	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
		(8) 家族等との連携・交流と家族支援	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 74 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。 ■ 75 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。 ■ 76 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。 ■ 77 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。 ■ 78 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。 ■ 79 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>利用者の高齢化に伴い、その家族等もまた高齢化し、あるいは亡くなった利用者も多くなっている。従って、保護者会への参加や個別支援計画策定時の面談に来訪する家族等も少なくなっている。</p> <p>そのため、積極的に広報誌に生活の様子を掲載して知らせたり、顧客満足度調査及び調査結果を郵送で実施して家族等との連携や途切れないつながりを重視している。</p> <p>利用者のご家族が亡くなった折には、利用者が通夜に参加するために職員が同行して、家族との連携支援も図っている。</p>
	3 発達支援	(1) 発達支援	① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。		<ul style="list-style-type: none"> □ 80 子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援(個別支援)を行っている。 □ 81 子どもの発達に応じて必要となる基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動等を組み合わせながら実施している。 □ 82 子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。 □ 83 子どもと保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。 	※非該当とする。
	4 就労支援	(1) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。		<ul style="list-style-type: none"> □ 84 利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。 □ 85 利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。 □ 86 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。 □ 87 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。 □ 88 仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。 □ 89 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。 	※非該当とする。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
			② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。		<input type="checkbox"/> 90 利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。 <input type="checkbox"/> 91 利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 92 仕事の内容・工程等の計画は、利用者で作成するよう努めている。 <input type="checkbox"/> 93 賃金(工賃)等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。 <input type="checkbox"/> 94 賃金(工賃)を引き上げるための取組や工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 95 労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。	※非該当とする。
			③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。		<input type="checkbox"/> 96 職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大(職場開拓)に努めている。 <input type="checkbox"/> 97 障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 98 利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者と企業とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 99 就労後の利用者と職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。 <input type="checkbox"/> 100 利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受入や支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 101 地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。	※非該当とする。